

提携米通信

2021年2月号・黒瀬農舎

寒い冬こそ、心が温まる。これって百姓の性



「秋田は記録的な大雪」と全国ニュースで報じられています。

「積雪量が観測史上最高の2m近く」との報道ですが、それは、秋田の横手方面など内陸部で、秋田市の横手方面など内陸部は、一番多かった1月中旬頃で30cm程度でした。

しかし1月8日、零下6℃の厳寒の中、真冬の大雪が吹き荒れ、倒木や屋根の剥がれ、また、強風と寒さ

で電線切断が相次ぎ、我が家も長時間停電にあいました。

お米をご利用下さっている皆様のお見舞いのおハガキなどありがとうございました。

でも、数年前にディーゼルエンジンの自家発電装置の中古を10万円余りで手に入れ、設置していますので、1週間や2週間の停電では日常生活には支障は出ません。

しかし、装置の設置は、いつもながらすべて自前で行うものですから、他の仕事に追われ、まだ完全な配線を終えておらず、ストーブなど主な機器のみに臨時の延長電線を張り、寒いものですから、一部のトイレが凍結破損し、数万円の出費を被りました。

また、この数年「雪なし暖冬」が続いて、せっかく整備している中古除雪機の出番がありませんでしたが、今年は久方ぶりの出勤です。

10年ほど前までの1月2月は、朝に除雪しても、昼には作業場から車が出せず、再び除雪ということが度々。これに比べて、今年は除雪機活動とはいえ、まだ、朝に数回だけです。

でも、今年の1月は、日中の最高気温が零下5～6℃という日が続き、道路が時々スケート場のようにピカピカ光り、地吹雪でホワイトアウトが起こる「寒い冬」でした。

北国で、自然の影響を受ける農業を行っている私たちは、少ないとはいえ、除雪機の出動や、日中の最高気温が0℃以下の「真冬日」が続くことは、動き難いものの、雪や寒さが、ホッとした気持ちと呼んでくれます。

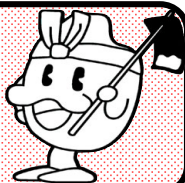
提携米 黒瀬農舎

〒010-0445

秋田県南秋田郡大湯村西1丁目4の7

黒瀬 正・友基

TEL:0185-45-3088 FAX:45-2887



★定期購入の場合も、変更や前倒しの出荷、休止はいつでも対応いたします。
★変更や休止は次のお米のお届けの5日ほど前までに連絡下さい。

★お米のご贈答利用も宜しくお願いたします。

E-mail: akita@kurose.com Web: 提携米 黒瀬農舎 [検索](#)

★電話は土日祝日も含めて朝8時～夜8時頃まで対応致します（自宅兼事務所）。但し、電話受付の専任スタッフはいないため田圃や倉庫作業、外出の時は留守番電話対応となります。ご了承願います。

また、メールもぜひご利用下さい。なおメールは原則すべて返信していますので、返信メールが届かない際は自動的に迷惑メールとなっている可能性があります。迷惑メールやメールの設定をご確認下さい。

お米作りの準備作業を冬から始めています。

かつての当地の冬は、主要道路は除雪され、余程でない限り^ゆき^き来できますが、田圃への道路は12月中頃から3月までの3ヶ月は通行不能です。

でも、この数年は、異常気象・暖冬で、真冬でも田圃に行くことが出来たために、冬の間整備



田圃の桜剪定 この桜、開花の春も見事ですが、夏の暑い日の、桜の木陰の休憩は最高です。

2021.1.26撮影

が必要な除草機などを田圃の小屋に保管したままにしていました。

正月休みを終えて、これら機械の改良工作などを住宅地近くの作業場で行う予定でしたが、前のページで紹介のように、今年は、1月上・中旬は、日中の最高気温がマイナス5～6℃という寒い日が続き、雪で閉ざされ農機具が持ち帰れず、気が急いでいました。

ところが、1月も下旬に入ると、暖かくなり、道路の雪はほぼ融けてきたので、次の寒波が来るまでに・・・と早速田圃の小屋に整備や改良予定の農機具を取りに行きました。

我が県の横手方面は、まだ1.5mを超える積雪のようですが、建物近辺の吹き溜まりには雪が1m位残っているものの、田圃にはほとんどありませんでした。この日は、風もない温かい晴天だったので、先ずは、春と夏にお世話になっている桜の剪定を行いました。

冬期間は田圃の仕事は、全くありませんが農機具・道具の改良工作や整備の予定が山ほどあります。いよいよ鉄鋼作業を始めましたが、春まで大忙しです。

この冬が一番大きな仕事は、2台目の乗用除草機の製作です。

一昨年に自作した乗用除草機は、その後も一部改良を加え「自画自賛」ですが、ほぼ満足した出来映えです。

ところで、除草機の稼働は年に4回ほどですが、それぞれの時期が早すぎると、稲を傷めます。遅すぎると、除草効果が極端に落ちます。適期幅はそれぞれ2、3日に限られます。

また、適期の見定めは、その時期の天候や気温、水温により流動し、神経を集中して観察判断することが大事です。

そして、適期だと判断しても、作業日が強風や大雨なら作業不能となり、作業適期幅は1日2日と、さらに狭まります。

ですから、機械の調子が悪かったり、故障したりすると、夜を徹しての修理作業を余儀なくされます。

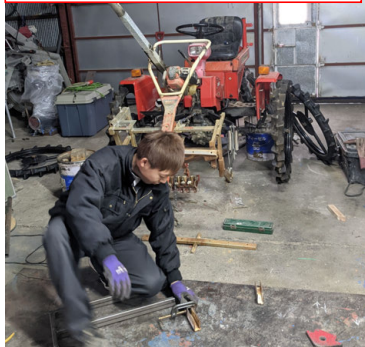
「百姓仕事はのんびり」のように見えますが、除草に関しては迅速性が第一なのです。

こんな訳で、もう一台準備する必要に迫られていました。

昨年夏にレンタカーで富山まで引き取りに行った半世紀近く前の特殊な中古の田植え機をベースに、数日前から、鉄製の4個の車輪を取り外し、ぬかるみでも沈まないように、別に手当てした自転車のような空気入りのタイヤの6輪車に変更する鉄鋼工作から取り組み始めました。

幸いにも機械好きのフリーターの若者を見付け、毎日パートで応援に来てもらっています。

冬は鉄鋼作業 今冬の製作計画
乗用除草機・暗渠掘削機・トラクター用の草刈機・その他数点。
春まで超過密。 2021.1.29撮影



糀、大豆など手作り味噌関係は、1月下旬から3月までのお米と一緒にお届け中です。

☆お餅は、冷蔵庫などに入れなくとも、常温保管で大丈夫です。未開封でカビなど出た場合は、袋に微細な穴が開いたなどの原因です。

☆賞味期限内は、交換や返金しますのでご連絡お願いします。